

- ◆ 原稿は上下247mm, 左右170mmの中に納める.
- ◆ 表題は3行目から始める. 上下マージン: 25mm, 左右マージン: 20mm

題名にはゴシックを用い, 主題1行は27文字以内
文字の大きさは16ポイント程度*
—副題は行を改めて14ポイント程度—

可視化 太郎[○] (湿原総研), 情報 花子 (大楽毛高専), 学会 一郎 (北海井大学)

An Example of the Manuscript for Proceedings of
the Visualization Society of Japan
— Kushiro 2008 —

Taro KASHIKA, Hanako JOHO and Ichiro GAKKAI

10mm

10mm

ABSTRACT

For the convenience of the authors, an example of the manuscript for Proceedings of the Visualization Society of Japan is shown. 論文の場合, 150語程度の英文ABSTRACTおよびKeywordsを入れる. 文字の大きさは9ポイント程度とし, 字体はCenturyが望ましい. 行間は1行分 (シングルスペース) とする. 左右150mmの中に納める.

Keywords: Venison burger, Red king crab, Sliced raw saury (先頭文字のみ大文字)

1. 緒論

これは可視化情報学会全国講演会 (釧路2008) 原稿の体裁見本となっている. 著者は「講演原稿執筆要項」を熟読の上, できるだけこのような体裁に原稿を仕上げた上で投稿することが望ましい.

2. 文字および改行

2行

2.1 文字の大きさと改行

著者名は12ポイント程度, 1行に36字以内とし, これを越える場合は行を改める. 著者名欄は中央揃えにする. 本文の文字の大きさは9ポイント程度, 25字×50行程度, 2段組とし, 段間は10mm程度空ける.

10mm

章の間は2行空け, その中央に章名を10ポイント程度の大きさで記す. 節の間は行を空ける必要はない.

参考文献の文字の大きさは8ポイント程度とする.

2.2 字体

原稿には Table 1 に示す字体またはこれらに準ずる字体¹⁾を用いるのが望ましい. 本文中の英文の字体は Century とする. また, 参考文献を引用する場合には, 上付文字とする²⁾.

3. 図表

本文中の図表の表記にはゴシックの字体を用いる. 図表の見本を Fig. 1 と Table 1 に示す. キャプションは表の場合は上部に, 図の場合は下部に10ポイント程度の大きさに英語で記す. キャプションの先頭のみを大文字とし最後にピリオドをつける.

20mm

25mm

Table 1 Sample of table. (先頭のみ大文字)

題名	章名	節名	本文	英文題名	英文著者名
ゴシック			明朝		Times New Roman

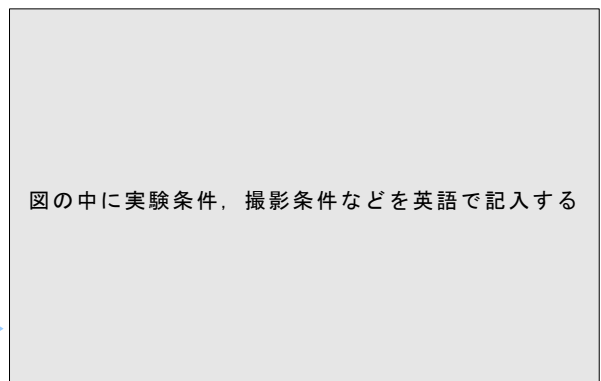


Fig. 1 Sample of figure. (末尾にピリオド)

4. 数式

数式は中央揃えで記入し, 式番号を右揃えで記入する. 数式の字体は Century Schoolbook が望ましい.

$$e^{jx} = \cos x + j \sin x \quad (1)$$

式を参照する場合には, 式(1)のように書く.

参考文献

- 1) 可視化太郎, 情報花子: 可視化情報学会における論文の書き方, 可視化情報, Vol.100, No.1000(1998) pp.11-12.
- 2) Kashika, T., Hanako, J.: An example of the manuscript for J. Visualization, J. Visualization, Vol.10, No.5 (1999) pp.10-15.

A. このファイル利用時の注意

この原稿見本ファイル（MS-Word 版または Open-Office 版）の表示は、各自の作業用 PC にインストールされているソフトウェアのバージョンおよびフォントの種類によってレイアウトが崩れる可能性がある。PDF 版を参考にレイアウトを調整すること。

青色の文字・線については削除すること。紙原稿の郵送の際、各講演に割り当てられた講演番号とページ番号を青色で余白に記入（手書き）すること。

Web 送信の際、PDF ファイルへ変換した上で提出すること。